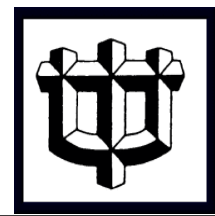


矢上の風

9月号 令和元年9月30日発行



体育祭テーマ
共 争

みんな笑顔
手本は先輩

秋空や皆にあげたし一等賞(涼風) 校長 木之下 浩一

時間がゆっくりと流れていた夏休みを忘れてしまうくらい、9月は、生徒、教職員ともに体育祭の練習に励みました。体育祭テーマを「共に創る41(よい)時代～共争～」と掲げ、取り組んだ第41回体育祭は、例年以上に盛り上がり、子どもたちは、満足感、成就感を味わい、来賓、保護者を感動させて終わりました。

台風17号の影響で22日(日)実施の予定を順延し、翌日、23日(月・秋分の日)に実施しました。22日の台風通過時の雨や風を目の当たりにして翌日実施をとっても心配しましたが、大会へ向けて練習を頑張ってきた子どもたちの顔が何度も思い出され、雨雲レーダーとにらめっこしながら朝5時に「実施」を判断しました。天気は、台風一過で曇りから晴れへと変わり、風の影響がほとんどないことを確認したからでした。

テント設営や会場準備等ができていなかったため開会式がかなり遅れることを覚悟しました。しかし、父親セミナーのメンバーや保護者、生徒、職員の懸命の準備により、予定よりわずか20分遅れで、生徒の堂々とした行進から体育祭を始めることができました。元気のある「若い力」斉唱や紅団、青団の両応援団長の力強い宣誓で一気に生徒の士気は高まりました。応援団は、3年生の団員を中心に夏休み返上で練習を重ね、当日まで全校生徒を引っ張り、体育祭の成功に大いに寄与してくれました。また、学年種目の「長縄跳び」や走る種目は、応援団の声援を背景に大いに盛り上がりました。終日、いい加減に走ったり、だらしない様子は無く、全員が全力で取り組んでいました。3年生全員のフォークダンスでは、私も加えてもらい、良き思い出ができました。プログラムが進むにつれ、天気は晴天となり昼前には少し暑さを感じる体育祭日和となっていました。

来賓や保護者の皆様からは、「生徒の皆さんの行動がきびきびして気持ちがいいですね」、「先生方の事前の指導が行き届き、生徒が主体的に動いていましたね」、「応援団の演舞は、工夫の跡を感じ、これまで以上に感動しました」等々、称賛の言葉を多数いただき無事に体育祭を終えることができました。

標題の「秋空や皆にあげたし一等賞(涼風)」は、本校国語科の藤岡 浩 教諭作です。〈意味：学校行事があるたびに深く考える。まずは生徒のがんばり。その全てを支える、地域、家庭、学校。目標は大きく、世界を日本を鹿児島をリードする人間へ育ててほしい。〉この体育祭の経験を今後の自分の成長に大いに生かし、さらに大きくなり、今後少しでも大きな舞台で活躍してください。

次の大きな目標は、10月25日(金)の文化祭です。10月当初には、中体連スポーツ教室や駅伝大会、中間テストが予定されており、勉強や部活動などそれぞれに厳しい場面の連続だと思いますが、体育大会で得た経験に自信を持ち、長丁場の2学期を頑張りぬいてほしいと思います。

PTA役員・会員の皆様へ(御礼)

体育祭当日は、早朝よりテント・会場設営、校内警備等にご協力いただきましてありがとうございました。おかげをもちまして、第41回体育祭が無事に終了できました。心より御礼申し上げます。

第41回体育祭 威風堂々 坂元中学校プライド



全国学力・学習状況調査結果 (本校3年生の結果の概要と今後の取組)

◇教科に関する調査

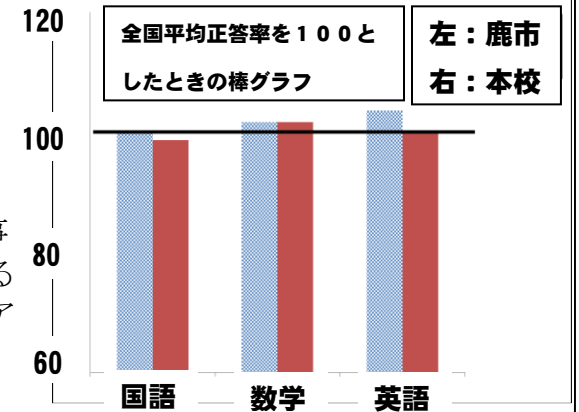
- 国語→全国より少し低い
- 数学→全国を上回る
- 英語→全国と同じ

◇質問紙調査 ◎よい ▲課題あり

- ◎読書が好き、ICTを積極的に活用、地域行事の参加率が高い、将来の夢や目標を持っている
- ▲新聞を読まない、時間内に終わらない(ケアレスミス)、無答率が高いなど

◇今後の取組

- ・授業で学習したことを家庭学習で補充するような課題設定
- ・話し合い活動と自分の考えをまとめる時間設定、授業改善など



歯の治療を急ぎましょう -歯痛は辛い・歯周病はこわい-

再三のお願いです。歯が痛くなると、食事や睡眠も勉強も運動もうまくいきません。特に、3年生は早めに治療を。毎日のブラッシングも大切に。

インフルエンザの予防対策 -手洗い・うがい・マスク・休養-

本市において、昨年より2ヶ月早いインフルエンザの流行入りであることから予防対策として次のことを実践しましょう。

- (1) 手洗いの励行
インフルエンザウイルスを除去するために、石けんによる手洗い励行を!
- (2) 咳・くしゃみ 「咳エチケット」
体調不良の場合は、ウイルス等の感染防止のためマスクを着用する、無理をしないで早めに休養を!



全国・県平均を少し上回ったが → まだ伸びる，できる！

- 1 毎日の授業で、「主体的・対話的でより深い学びに高める」という視点に立つ話し合い学習や、生徒相互の磨き合いの機会を充実させる。
- 2 一人ひとりの生徒に、「やればできる」という自信を持たせたい。そのため、学習意欲を高めるための個別支援を大切にし、補充指導を充実させる。
- 3 生徒に「正答プラスあと1問」の気概を持たせ、積小為大の努力を促す。
- 4 進路実現をめざす3年生のがんばりを支援し、生徒自身の本気度を向上させ、自分のゴールを見据えた学習意欲を喚起するため、進路選択の時点から個別の励ましと相談を進める。
- 5 1月の鹿児島学習定着度調査（1，2年生対象）まで残り130日余となった。生徒一人ひとりの定着度を把握しながら、授業改善と確かな学力の定着をめざす。詳細は、裏面をご覧ください。